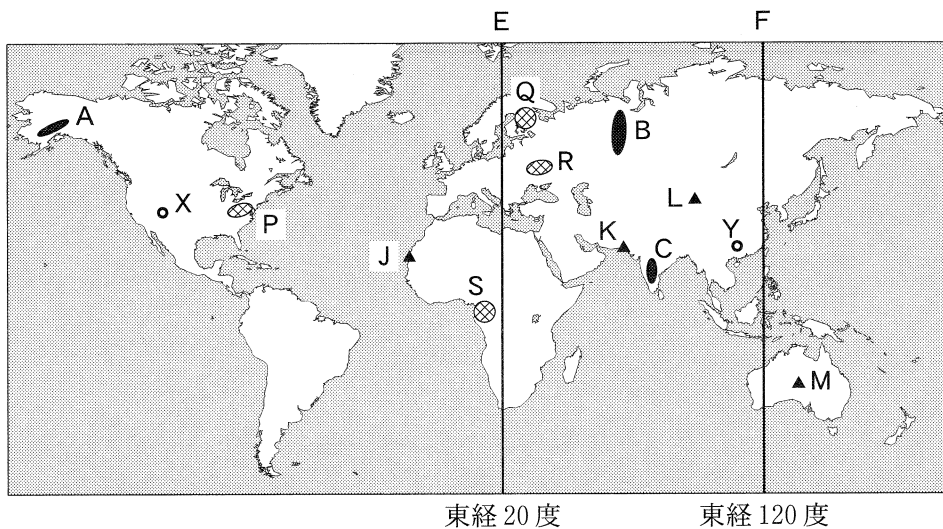


地 理 B

(解答番号 ~)

第1問 次の図1を見て、世界の自然環境と自然災害に関する下の問い(問1～6)に答えよ。(配点 16)



北緯 80 度～南緯 60 度の範囲を示す。

図 1

問 1 次のア～ウの文は、図1中のA～Cに位置するいずれかの山脈や高原にみられる地形の特徴を述べたものである。ア～ウとA～Cとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

ア 地殻変動がほとんど起きていない地域であり、玄武岩に覆われた起伏の小さな高原状の地形となっている。

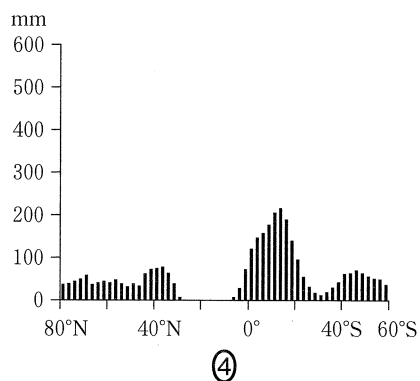
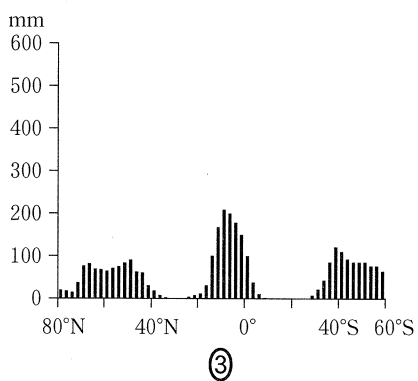
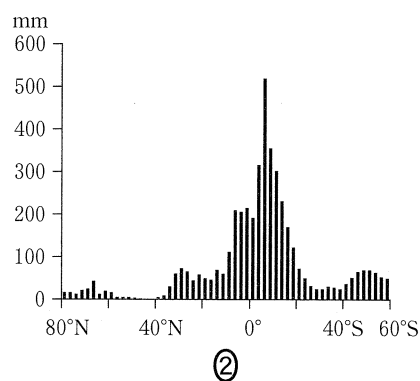
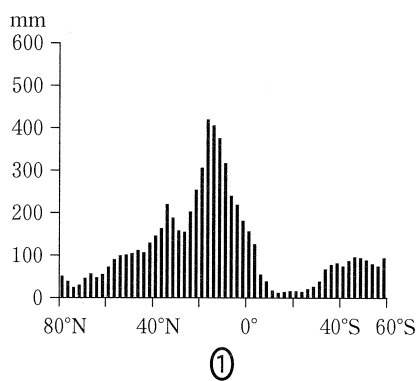
イ 古生代に地殻変動が起きた地域であり、標高が低く起伏の小さな山脈となっている。

ウ 現在も地殻変動が活発な変動帯であり、急峻^{きゆうしゆん}で起伏の大きな山脈となっている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	A	A	B	B	C	C
イ	B	C	A	C	A	B
ウ	C	B	C	A	B	A

問 2 次の図2は、図1中のE、Fの経線上の月降水量を示したものであり、図2中の①～④は、Eの1月、Eの7月、Fの1月、Fの7月のいずれかである。Eの1月に該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。

2



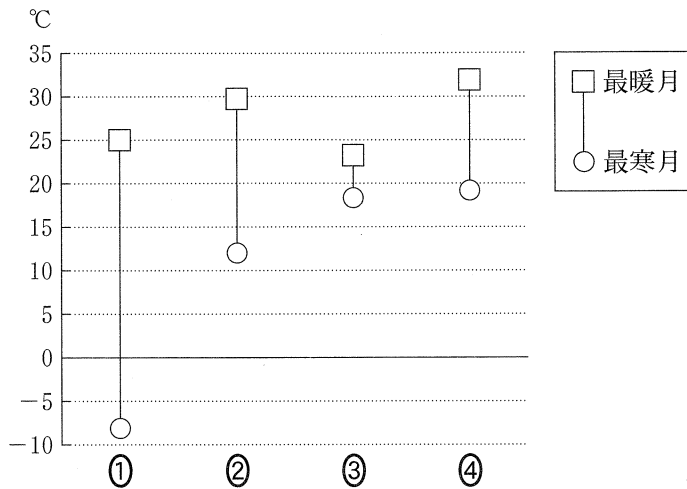
データは緯度2.5度ごと。
NOAAの資料により作成。

図 2

地理 B

問 3 次の図 3 は、乾燥地域にあるいくつかの地点について、最暖月と最寒月の月平均気温を示したものであり、①～④は、図 1 中の地点 J～M のいずれかである。K に該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。

3



『理科年表』などにより作成。

図 3

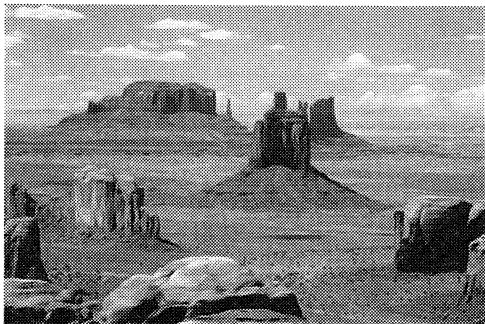
問 4 図 1 中の P～S でみられる土壌の特徴と成因を述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

4

- ① P では、腐植の集積や、風化作用にともない、褐色の土壌が形成される。
- ② Q では、鉄分の溶脱^{ようだつ}が進み、灰白色の土壌が形成される。
- ③ R では、水分の蒸発により塩類が集積し、灰色の土壌が形成される。
- ④ S では、鉄やアルミニウムが集積し、赤色の土壌が形成される。

問 5 世界各地では、その土地の気候条件や地質条件によって異なる侵食作用がはたらき、多様な地形がみられる。次の写真1は、それぞれ図1中の地点XとYで撮影されたものである。写真1にみられる地形を説明した下の文章中の空欄力とキに当てはまる語句の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

5



地点X



地点Y

写真 1

地点Xの付近には、テーブル状や塔状の地形がみられる。それらの垂直な崖^{がけ}の地層は、その直下の斜面の地層に比べて(力)。地点Yの付近にも、塔状の地形がみられる。この地形は、(キ)作用により形成された。

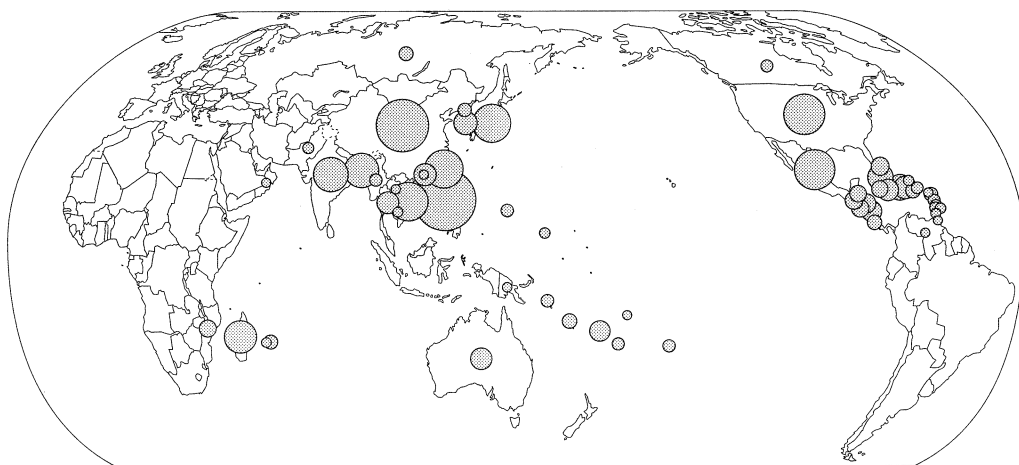
	力	キ
①	侵食されにくい	石灰岩の溶食 ^{ようしょく}
②	侵食されにくい	氷河による侵食
③	侵食されやすい	石灰岩の溶食
④	侵食されやすい	氷河による侵食

地理 B

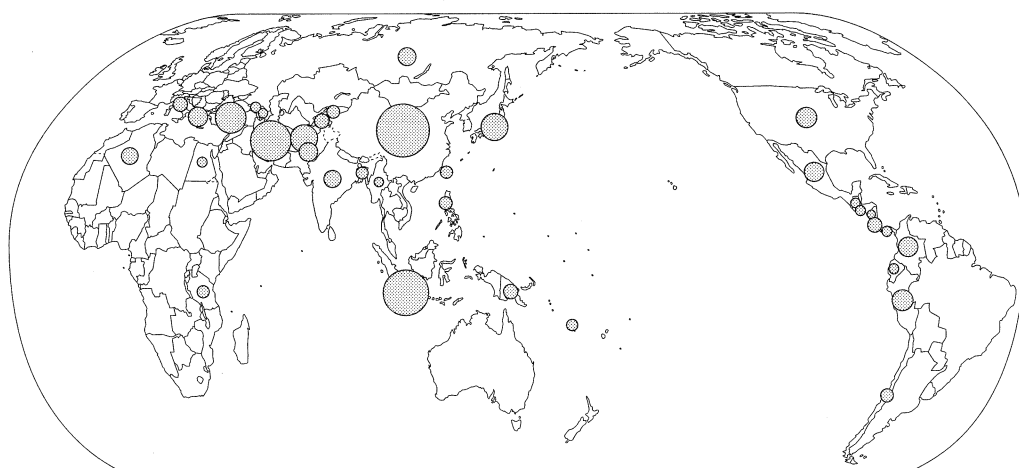
問 6 次の図 4 中のサ～スは、1991 年から 2010 年の期間における火山噴火、地震・津波、熱帯低気圧のいずれかによる自然災害の発生数*を、国・地域別**に示したものである。サ～スと災害をもたらした自然現象名との正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 6

*死者 10 名以上、避難者 100 名以上、非常事態宣言の発令、国際援助の要請のいずれかの状況をもたらした自然災害の合計。

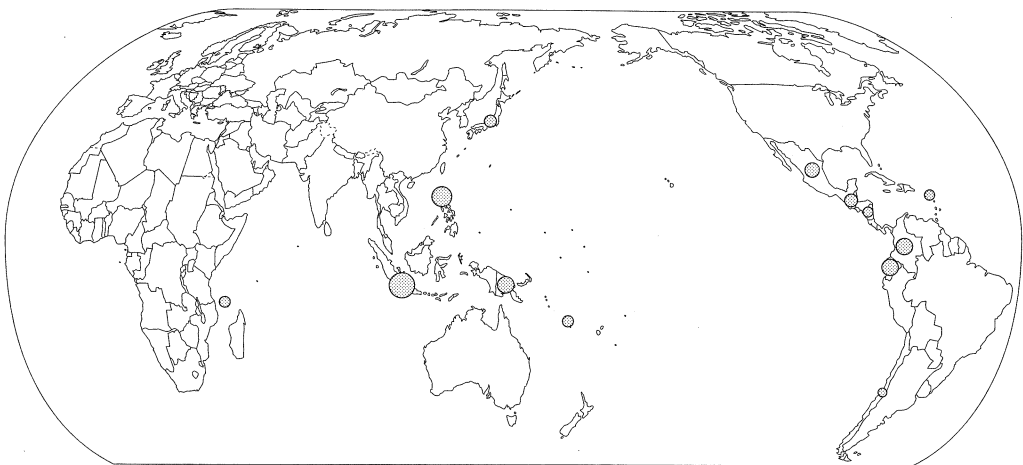
**海外領土での自然災害はその地点に示した。



サ



シ



ス

3 件未満は省略した。
旧ソ連のデータを含まない。

Université catholique de Louvain の資料により作成。

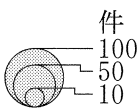


図 4

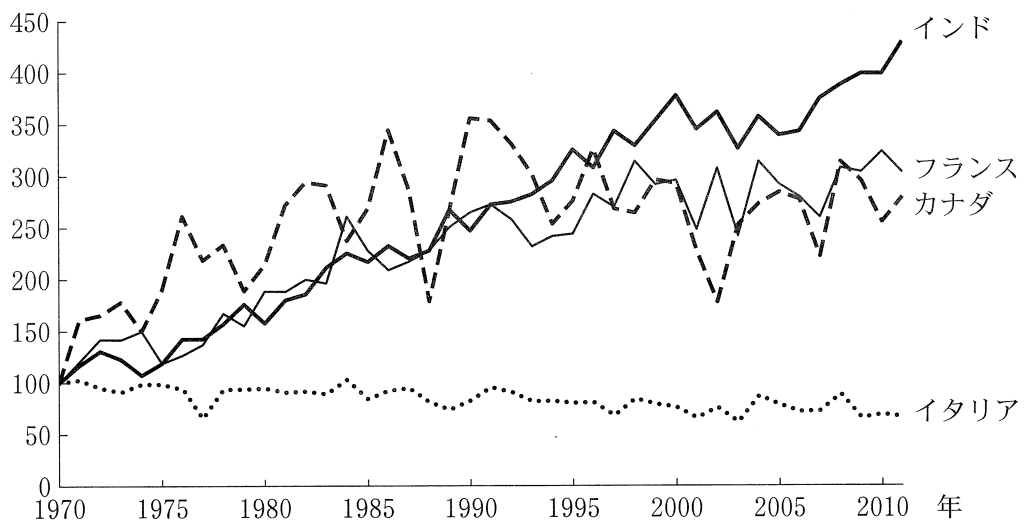
	サ	シ	ス
①	火山噴火	地震・津波	熱帯低気圧
②	火山噴火	熱帯低気圧	地震・津波
③	地震・津波	火山噴火	熱帯低気圧
④	地震・津波	熱帯低気圧	火山噴火
⑤	熱帯低気圧	火山噴火	地震・津波
⑥	熱帯低気圧	地震・津波	火山噴火

地理B

第2問 世界の農業に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 17)

問1 次の図1は、イタリア、インド、カナダ、フランスの小麦の生産量の推移を、1970年を100として示したものである。図1から読み取れることがらとその背景について述べた文として下線部が適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

7



FAOSTAT により作成。

図 1

- ① イタリアでは、1970 年以降生産量の減少傾向が続いているが、これは農場の国有化を推進したものの、生産性が向上しなかったためである。
- ② インドでは、1970 年以降生産量が増加しているが、これは「緑の革命」によって高収量品種の導入や灌漑設備の整備が進んだためである。
- ③ カナダでは、年による生産量の変動が大きいが、これは栽培限界の近くに位置し、気温や降水量の変動の影響を受けやすいためである。
- ④ フランスでは、1970 年から 2000 年に生産量が増加しているが、これは大規模経営による生産性の高さから小麦栽培を拡大してきたためである。

地理B

問 2 次の表1は、いくつかのプランテーション作物について、生産量の上位5か国と、それぞれの国の生産量が世界に占める割合を示したものであり、ア～ウは、茶、天然ゴム、パーム油の生産量のいずれかである。ア～ウと作物名との正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 8

表 1

(単位：％)

順 位	ア	イ	ウ
1 位	インドネシア 45.0	中 国* 35.1	タ イ 30.4
2 位	マレーシア 39.6	インド 20.9	インドネシア 27.1
3 位	タ イ 3.2	ケニア 8.2	マレーシア 8.4
4 位	コロンビア 2.0	スリランカ 7.1	インド 7.3
5 位	ナイジェリア 1.9	トルコ 4.8	ベトナム 7.2

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。

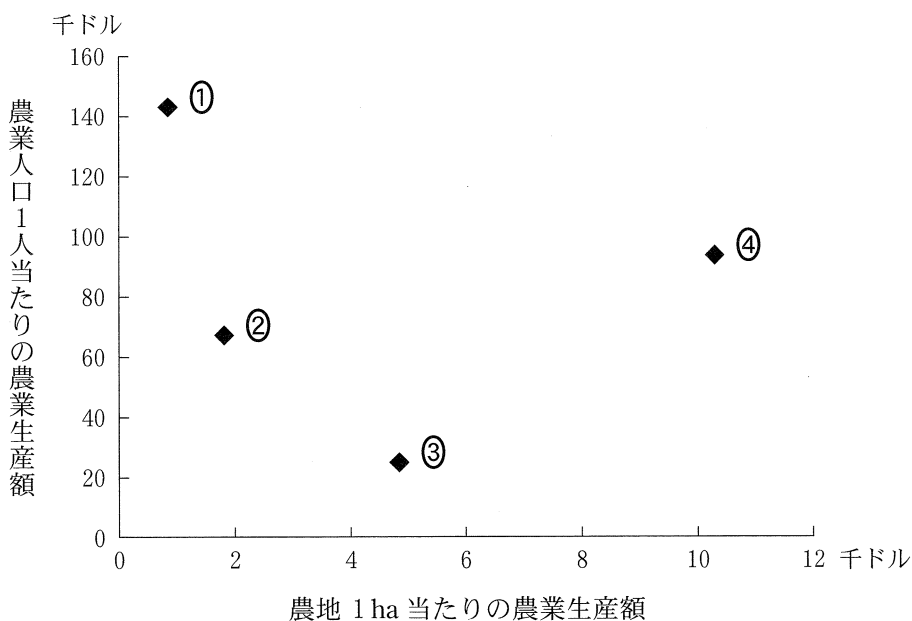
統計年次は 2011 年。

FAOSTAT により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
ア	茶	茶	天然ゴム	天然ゴム	パーム油	パーム油
イ	天然ゴム	パーム油	茶	パーム油	茶	天然ゴム
ウ	パーム油	天然ゴム	パーム油	茶	天然ゴム	茶

地理 B

問 3 次の図 2 は、いくつかの国における農地 1 ha 当たりの農業生産額と農業人口 1 人当たりの農業生産額を示したものであり、①～④は、アメリカ合衆国、イギリス、オランダ、マレーシアのいずれかである。オランダに該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 9



統計年次は 2011 年。
FAOSTAT により作成。

図 2

問 4 アメリカ合衆国の農業は、自然環境などに応じて地域的に多様である。次ページの図 3 中の K～M は、地点 a を起点に三つの鉄道ルートを示したものであり、次ページのカ～クの文は、それぞれのルート上の地点 b～d 付近の農業地域の特徴について述べたものである。K～M とカ～クとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。 10

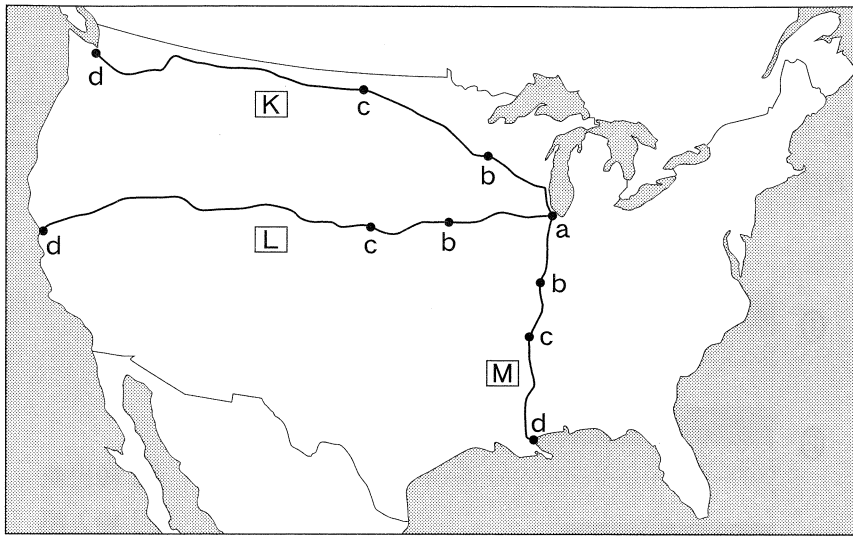


図 3

カ 地点b付近ではトウモロコシなどの大規模栽培が、地点c付近では肉牛肥育や灌漑設備を用いた小麦栽培が、地点d付近では果樹栽培が卓越する。

キ 地点b付近は耕作と畜産を組み合わせた農業、地点c付近は綿花栽培、地点d付近は大豆・イネ・サトウキビなどの栽培で特徴づけられる。

ク 地点b付近では酪農地帯が広がり、地点c付近では夏から秋に収穫する小麦の大規模な栽培が行われ、地点d付近では酪農や果樹栽培が盛んである。

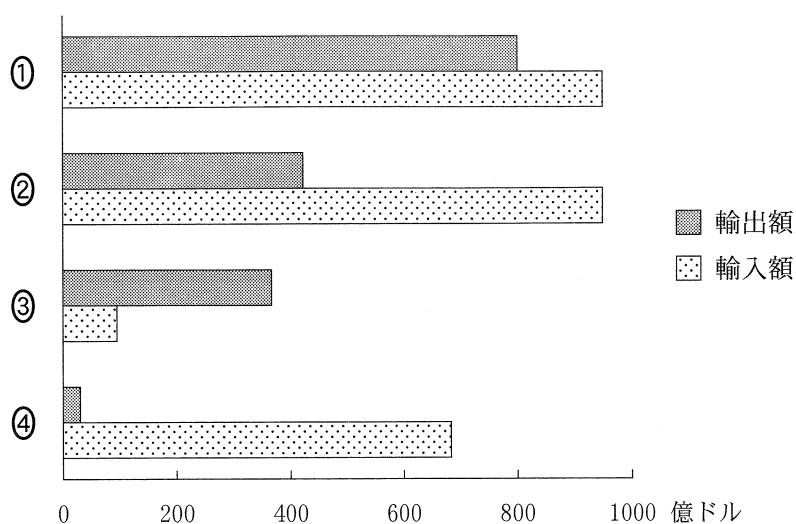
	①	②	③	④	⑤	⑥
K	カ	カ	キ	キ	ク	ク
L	キ	ク	カ	ク	カ	キ
M	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理 B

問 5 次の図 4 は、いくつかの国における農産物貿易の輸出額と輸入額をそれぞれ示したものであり、①～④は、タイ、中国*、ドイツ、日本のいずれかである。タイに該当するものを、図 4 中の①～④のうちから一つ選べ。

11

*台湾、ホンコン、マカオを含まない。



統計年次は 2011 年。

FAOSTAT により作成。

図 4

問 6 農産物流通と農業政策にかかわる特徴や課題について述べた文として適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

12

- ① アメリカ合衆国には、穀物メジャーとよばれる大規模な多国籍企業の本拠地が存在しており、世界の穀物市場に強い影響を与えている。
- ② オーストラリアは、イギリスに重点を置いたかつての農産物輸出戦略を、アジアを中心とした輸出戦略に転換してきた。
- ③ 日本では、農産物市場の対外開放にともなって、小規模な農家を保護するために営農の大規模化を抑制する政策がとられるようになった。
- ④ ヨーロッパの共通農業政策は、主な農産物の域内共通価格を定め、安価な輸入農産物に課徴金をかけたため、域外の国々との貿易摩擦が発生した。

地理B

第3問 都市と村落に関する次の問い(問1～6)に答えよ。(配点 17)

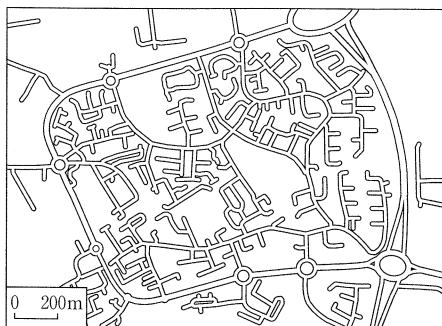
問1 次の①～④の文は、カイロ、ハンブルク、ベネチア(ヴェネツィア)、ベルゲンのいずれかの都市の立地とその特徴について説明したものである。ハンブルクに該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 13

- ① 三角江(エスチュアリー)^{さんかくこう}をなす河口から約 100 km ほど内陸に発達した都市で、国内最大の港湾都市となっている。
- ② 潟湖(ラグーン)^{せきこ}の中に形成された都市で、近年では高潮による水没の被害に悩まされている。
- ③ 大河川の三角州(デルタ)の頂点に立地する都市で、現在の市街地は河川の分岐点に発達している。
- ④ 両側を急斜面に挟まれた入り江に位置する都市で、国内有数の海運業の拠点となっている。

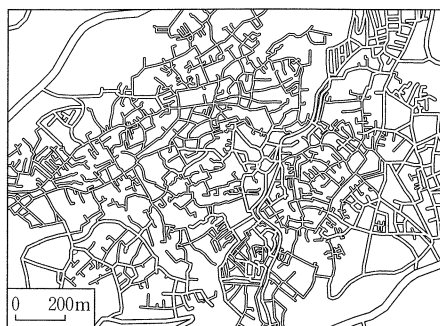
問2 首都は、その国の政治の中心であるが、必ずしも人口最大の都市であるとは限らない。首都がその国における人口第1位の都市である国として**適当でない**ものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 14

- ① スペイン
- ② タイ
- ③ ニュージーランド
- ④ メキシコ

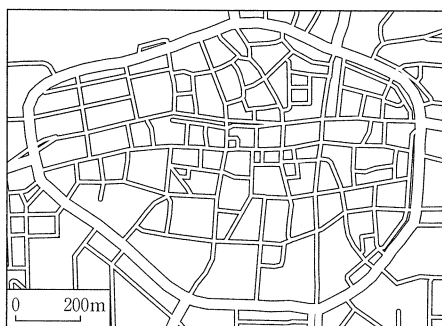
問 3 次の図1中のA～Cは、いくつかの都市における街路の形態を示したものであり、下のア～ウの文はそれらの都市について述べたものである。A～Cとア～ウとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 15



A



B



C

図 1

- ア ^{いかく} 囲郭都市に由来するドイツの都市である。
- イ イスラームの都市の特徴を示すモロッコの都市である。
- ウ 計画的に建設されたイギリスの都市である。

	①	②	③	④	⑤	⑥
A	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
B	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
C	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理 B

問 4 都市のランドマークとなる高層建築物の建設は、その都市の発展の過程と密接にかかわっている。次の①～④の文は、エッフェル塔(パリ)、エンパイア・ステート・ビル(ニューヨーク)、東方明珠塔(上海^{とうほうめいじゆとう})、文化科学宮殿(ワルシャワ)のいずれかについて述べたものである。エッフェル塔に該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 16

- ① 国際金融拠点としてのこの都市を代表する建築物であり、その周辺は世界でも有数の摩天楼^{まてんろう}の集中地区となっている。
- ② この建築物の周辺に形成された高層ビル群の景観は、近年世界都市として急成長しているこの都市の繁栄を表している。
- ③ 万国博覧会の際につくられた建築物であり、当時は伝統的景観を損なうとの批判もあったが、現在ではこの都市の象徴となっている。
- ④ 冷戦期に近隣国の政治的影響下にあったことを象徴する建築物として反発も大きかったが、現在ではこの都市の観光名所となっている。

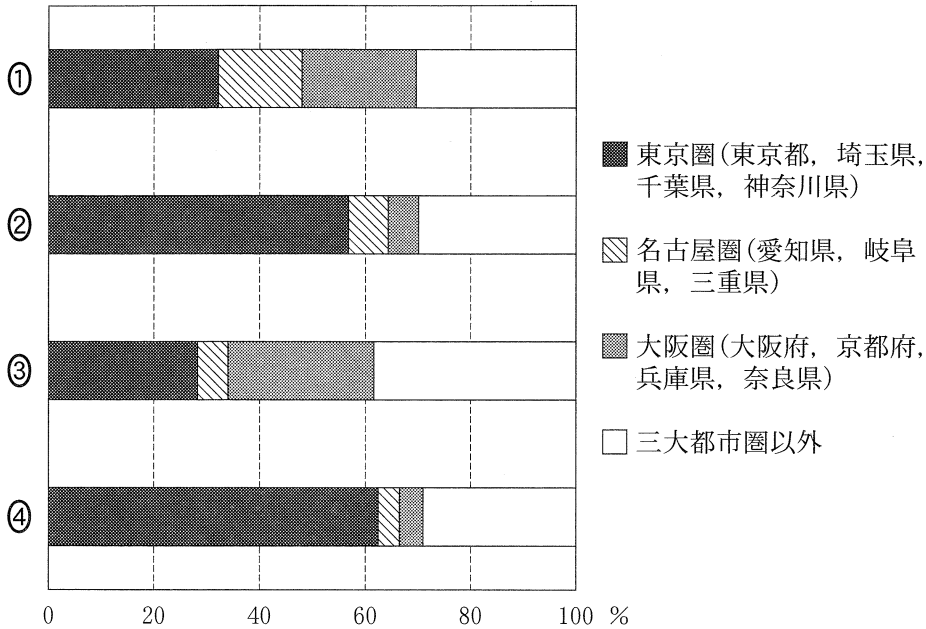
問 5 1990 年代以降における、日本の農山村地域の変化について述べた文として適当でないものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 17

- ① 過疎化した村落では、高齢化が進むにつれて伝統的な文化や社会組織が衰退してきた。
- ② 後継者不足などによる農業就業人口の減少にともない、民間企業が農業に参入するようになった。
- ③ 食の安心・安全への関心の高まりから地産地消が推進されたことにより、耕作放棄地が減少した。
- ④ 農作物の生産・供給機能に加えて、自然環境の保全や余暇活動の場の提供など多面的機能が注目されるようになった。

問 6 人口移動から地域間の結びつきを読み取ることができる。次の図 2 中の①～④は、東北、甲信越^{*}、北陸^{**}、中国の各地方の人口移動について、三大都市圏(東京圏、名古屋圏、大阪圏)およびそれ以外^{***}への転出人口の内訳を示したものである。北陸地方に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

18

^{*}新潟県、山梨県、長野県。
^{**}富山県、石川県、福井県。
^{***}自地方内での移動を除く。



統計年次は 2010 年。
『住民基本台帳人口移動報告』により作成。

図 2

地理B

第4問 次の図1を見て、南アメリカに関する下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 17)

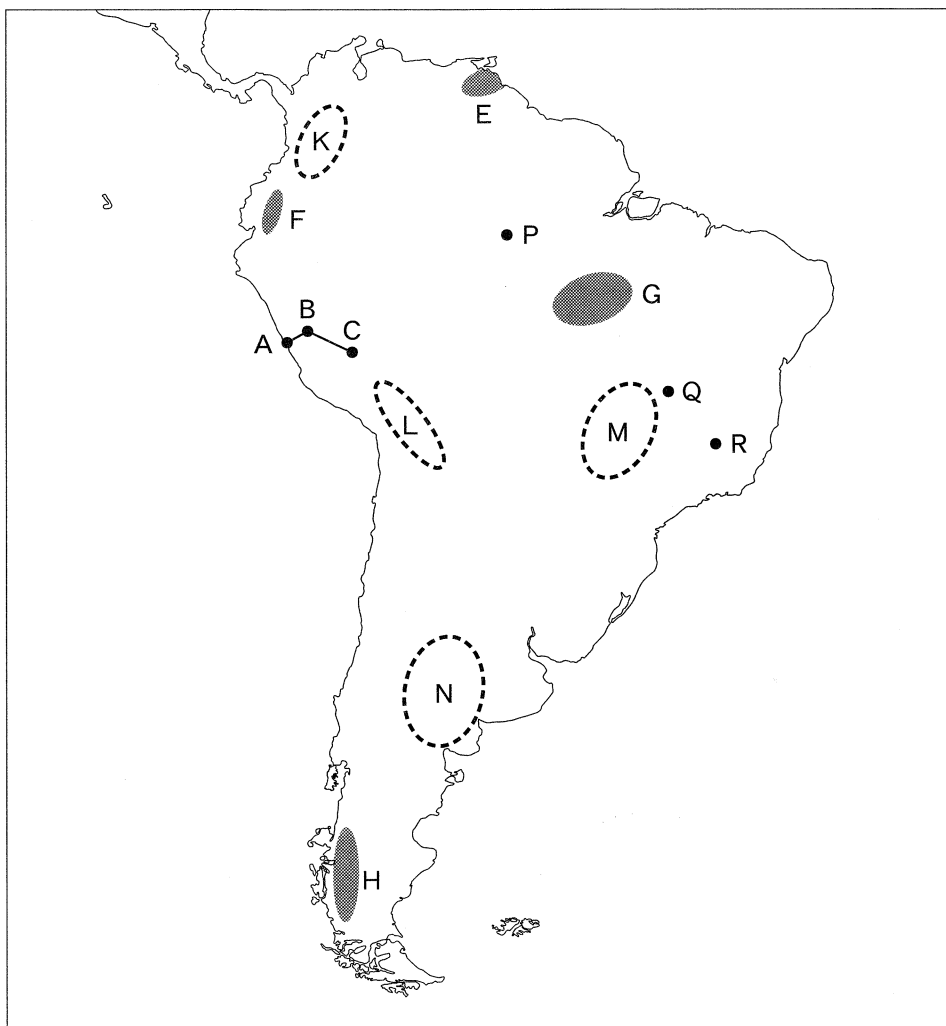
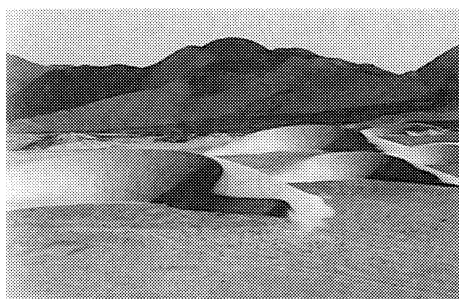


図 1

問 1 南アメリカ大陸の西部では、東西方向での短い距離の移動で景観が大きく変化する。次の写真1中のア～ウは、図1中のA～Cのいずれかの地点でみられる景観を撮影したものである。AからBを経てCまで移動した場合にみられる景観を順に並べたものとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

19



ア



イ



ウ

写真 1

① ア→イ→ウ

② ア→ウ→イ

③ イ→ア→ウ

④ イ→ウ→ア

⑤ ウ→ア→イ

⑥ ウ→イ→ア

地理 B

問 2 図 1 中の E ～ H の地域の地形について述べた文として **適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。 20

- ① E にはサバナを流れる河川が形成した三角州(デルタ)がみられる。
- ② F は新期造山帯に属し、標高の高い火山がみられる。
- ③ G は古期造山帯に属し、起伏の小さな高原がみられる。
- ④ H には大規模な山岳氷河があり、U 字谷(氷食谷)がみられる。

問 3 次の①～④の文は、図 1 中の K ～ N のいずれかの地域にみられる農牧業の特徴を述べたものである。M に該当するものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 21

- ① 穀物メジャーによる企業的農業が行われ、大豆やトウモロコシなどが生産されている。
- ② 植民地時代に起源をもつプランテーション農業が行われ、コーヒーやバナナなどの商品作物が栽培されている。
- ③ 粗放的な農牧業が営まれ、ジャガイモなどの栽培とリャマや牛などの放牧が行われている。
- ④ 大土地所有制度を背景とした牧畜業が発展し、大規模なエスタンシアにおいて牛や羊の放牧が行われている。

- 問 4 図 1 中の P ～ R はブラジルにおける人口 100 万人以上の三つの都市を示したものであり、次のカ～クの文は P ～ R のいずれかの特徴を述べたものである。P ～ R とカ～クとの正しい組合せを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

22

カ 19 世紀後半から 20 世紀初頭に天然ゴムの集散地として栄え、自由貿易地域に指定されてからは電気機械工業や輸送機械工業が発展した。

キ イタビラ鉄山を含む「鉄の四辺形地帯」の近くに位置し、豊富な鉱産資源を利用した鉄鋼業や金属製品工業が発達している。

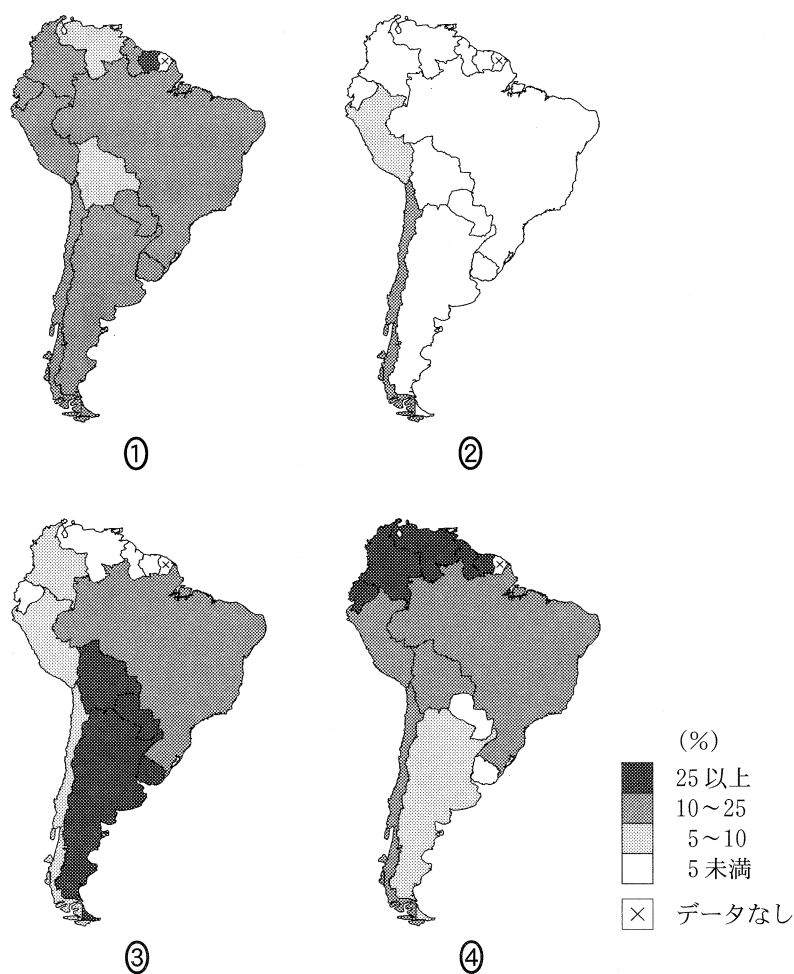
ク 国土の均衡ある発展をめざして 1950 年代に建設された計画都市で、国の政治機能が集まる中心部の街並みは世界文化遺産に登録されている。

	①	②	③	④	⑤	⑥
P	カ	カ	キ	キ	ク	ク
Q	キ	ク	カ	ク	カ	キ
R	ク	キ	ク	カ	キ	カ

地理 B

問 5 貿易による国々の結びつきは、相手国との近接性や自由貿易協定の存在などにより異なる。次の図 2 中の①～④は、南アメリカ諸国におけるアメリカ合衆国、日本、EU(欧州連合)、MERCOSUR(南米南部共同市場)*へのそれぞれの輸出額が輸出総額に占める割合を示したものである。MERCOSUR に該当するものを、図 2 中の①～④のうちから一つ選べ。 23

*準加盟国は含まない。



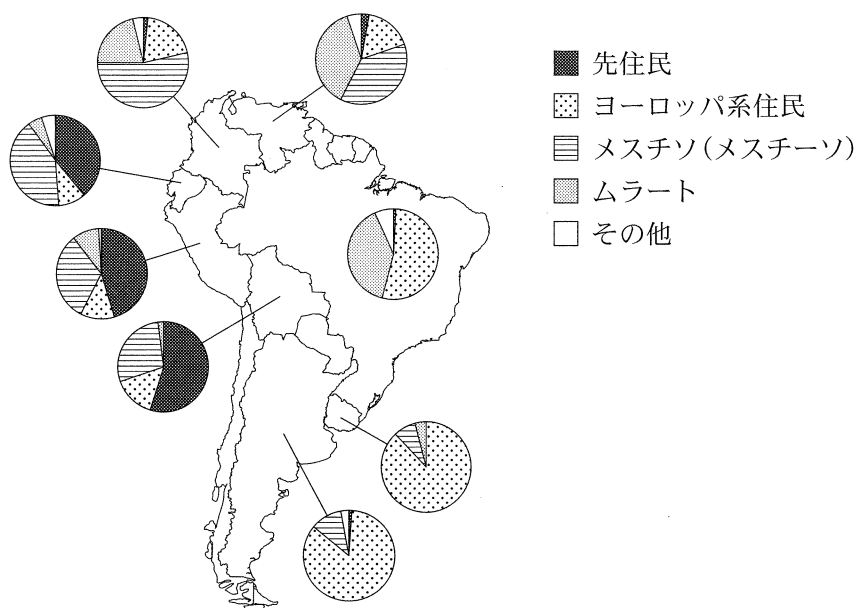
統計年次は 2012 年。

IMF(国際通貨基金)の資料により作成。

図 2

- 問 6 南アメリカの国々では多民族・多文化の社会が形成されている。次の図 3 は南アメリカのいくつかの国における住民の民族構成を示したものである。図 3 に関することがらについて述べた文章として、下線部が最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

24



Convergenca, 2005 により作成。

図 3

- ① アルゼンチンやウルグアイではヨーロッパ系住民の割合が高い。これは、独立後に北アメリカからの移民を大量に受け入れたためである。
- ② エクアドルやコロンビアではメスチソ(メスチーソ)の割合が高い。これらの国では、ポルトガル語が国の公用語となっている。
- ③ ブラジルやベネズエラではムラートの割合が高い。これは、植民地時代にアフリカから多くの奴隷が連れてこられたためである。
- ④ ペルーやボリビアでは先住民の割合が高い。これらの国では、植民地支配を受ける以前からの宗教を信仰する住民が多数を占めている。

地理B

第5問 現代世界の諸課題に関する次の問い(問1～5)に答えよ。(配点 16)

問1 人々の健康を取りまく状況は、生活習慣や医療制度など国により異なる。次の表1は、いくつかの国における20歳以上の人口に占める肥満*の人の割合、医療費に占める公的支出の割合、人口1,000人当たりの病床数を示したものであり、①～④は、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、デンマーク、フィリピンのいずれかである。アラブ首長国連邦に該当するものを、表1中の①～④のうちから一つ選べ。

25

*体重(kg)を身長(m)の2乗で割って算出される値が30以上の状態。

表 1

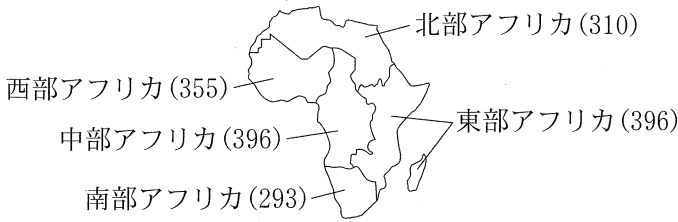
	20歳以上の人口に占める 肥満の人の割合(%)	医療費に占める公的 支出の割合(%)	人口1,000人当たりの 病床数(床)
①	33.7	74.4	1.9
②	31.8	45.9	3.0
③	16.2	85.2	3.5
④	6.4	33.3	0.5

統計年次は、20歳以上の人口に占める肥満の人の割合が2008年、医療費に占める公的支出の割合が2011年、人口1,000人当たりの病床数が2008年または2009年。

World Development Indicators などにより作成。

問2 次ページの図1は、アフリカを5地域に区分して50年間の人口増加指数を示したものである。また、次ページの図2はこれらのうち3地域について出生率および死亡率の推移を示したものであり、ア～ウは、北部アフリカ、中部アフリカ、南部アフリカのいずれかである。地域名とア～ウとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

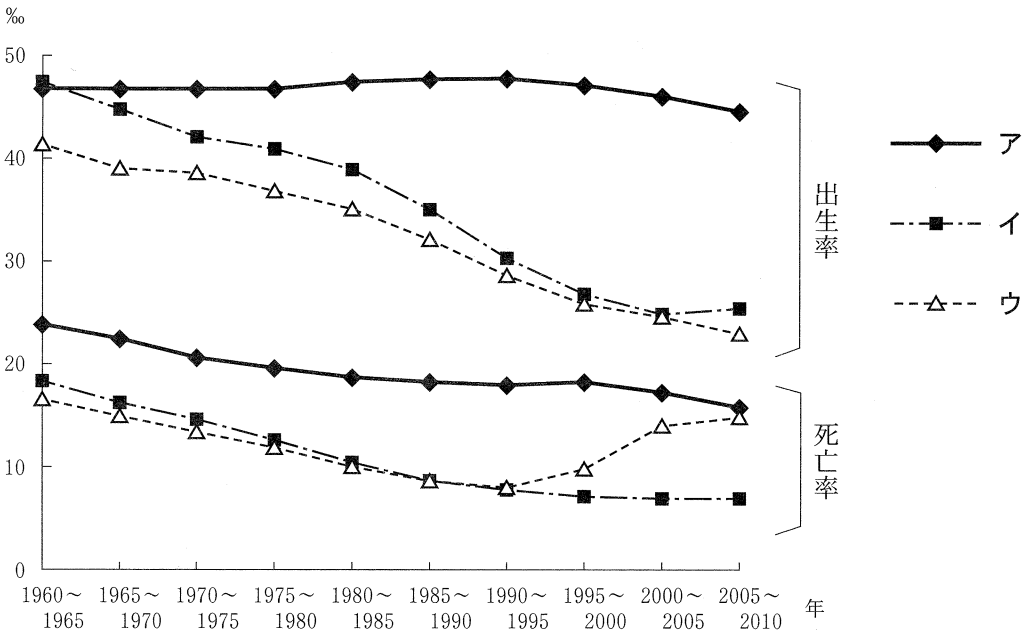
26



括弧内の数値は、1960年の人口を100とした場合の2010年の人口を示す。

World Population Prospects により作成。

図 1



World Population Prospects により作成。

図 2

	①	②	③	④	⑤	⑥
北部アフリカ	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
中部アフリカ	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
南部アフリカ	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア

地理 B

問 3 世界の大都市の社会経済的状況について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～⑥のうちから二つ選べ。ただし、解答の順序は問わない。

27

28

- ① シェンチェン(深圳)では、外資導入による工業化が短期間に実現したが、これは内陸地域からの出稼ぎ労働者に支えられている。
- ② シンガポールでは、都市の過密にともなって、多国籍企業の中枢管理機能が隣国に流出して経済的衰退に直面している。
- ③ デリーでは、社会資本の整備が人口増加に追いつかず、激しい交通渋滞や列車への過剰乗車などの混乱が生じている。
- ④ ニューヨークでは、低所得者層の市外への流出にともなって、インナーシティ問題が進行している。
- ⑤ パリでは、北アフリカ系の移民を含む低所得者層が郊外に集住する傾向がみられる。
- ⑥ マニラでは、鉄道線路沿いや小河川沿い、沼地の跡などに、貧困層の集住地区がみられる。

問 4 土壌劣化とは、表土の流出、土壌の汚染、貧栄養化、酸性化、塩性化(塩類集積)、湿地化などのことをいう。次の表 2 は、世界のいくつかの地域について、土壌劣化の原因別面積率を示したものであり、カ～クは、アフリカ、北・中央アメリカ、南アメリカのいずれかである。地域名とカ～クとの正しい組合せを、次ページの①～⑥のうちから一つ選べ。

29

表 2

(単位：％)

	過放牧	森林破壊	農 業	その他
カ	49	14	24	13
キ	28	41	26	5
ク	24	11	58	7

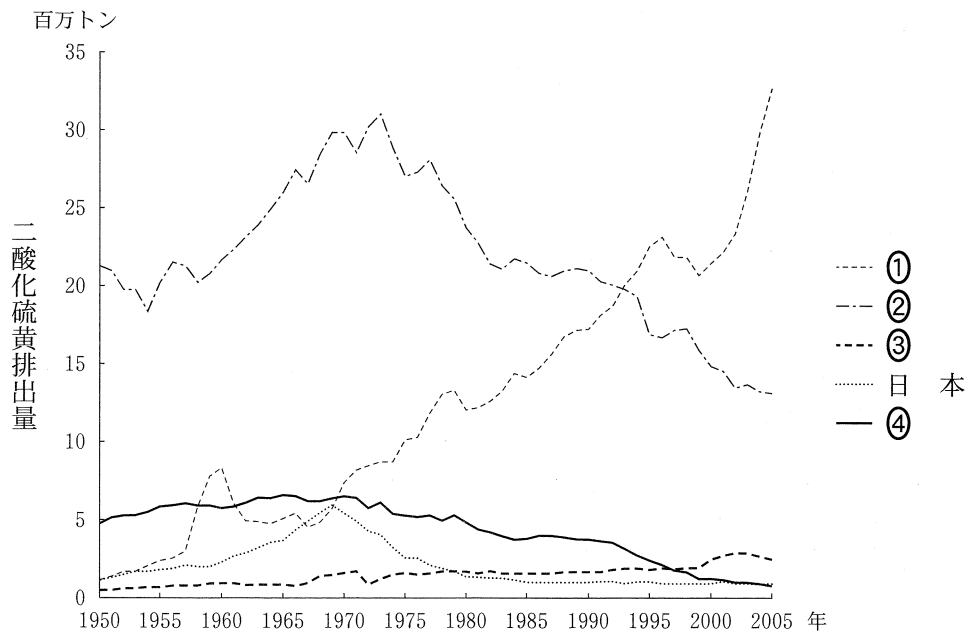
World Map of the Status of Human-Induced Soil Degradation により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
アフリカ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
北・中央アメリカ	キ	ク	カ	ク	カ	キ
南アメリカ	ク	キ	ク	カ	キ	カ

問 5 次の図 3 は、いくつかの国における二酸化硫黄排出量の推移を示したものであり、①～④はアメリカ合衆国、イギリス、オーストラリア、中国*のいずれかである。イギリスに該当するものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。

30

*台湾，ホンコン，マカオを含まない。



NASA Socioeconomic Data and Applications Center の資料により作成。

図 3

地理B

第6問 高校生のアヤネさんは、北海道の富良野市とその周辺地域の歴史や観光に興味をもち、次の図1の20万分の1地勢図(原寸、一部改変)で示された範囲の地域調査を行うことにした。この地域調査に関する下の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 17)

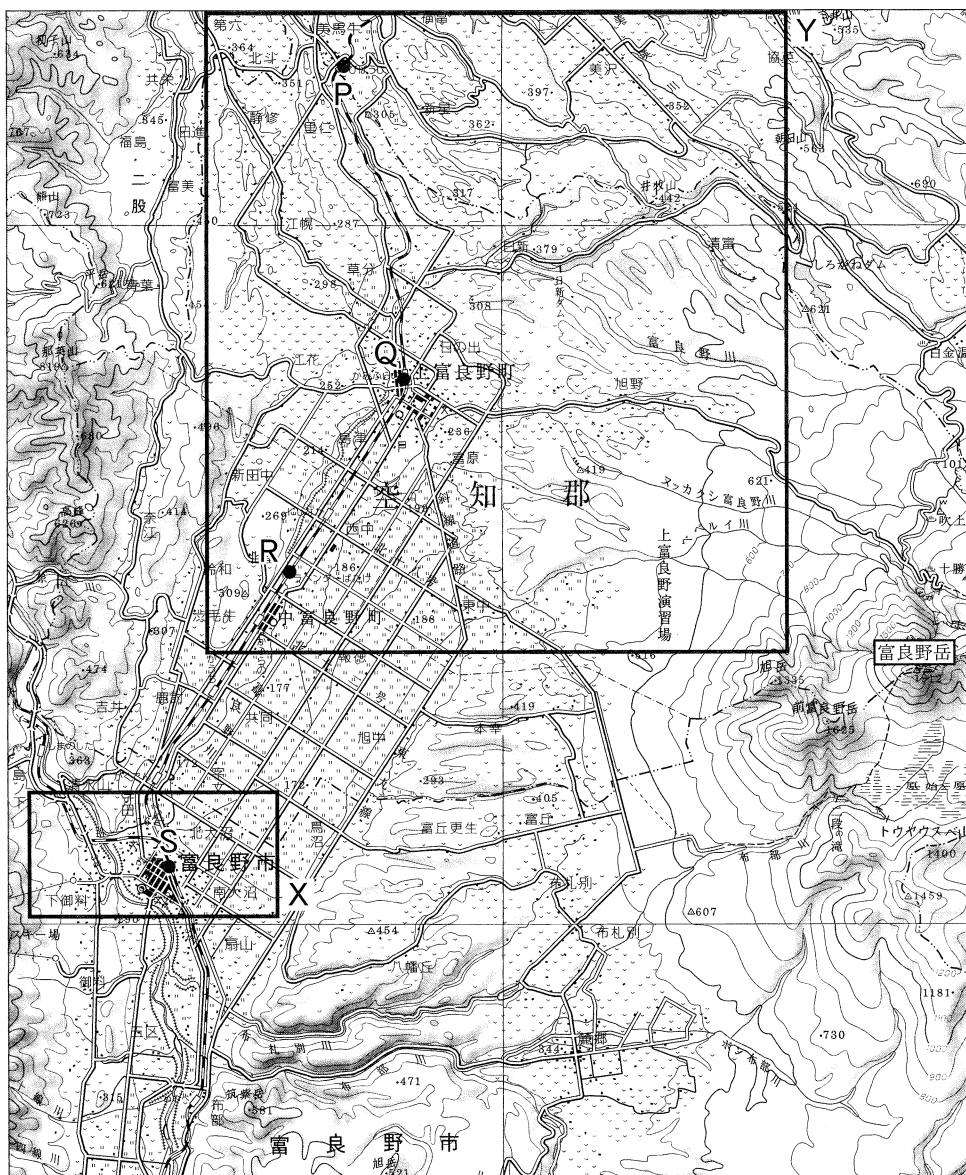


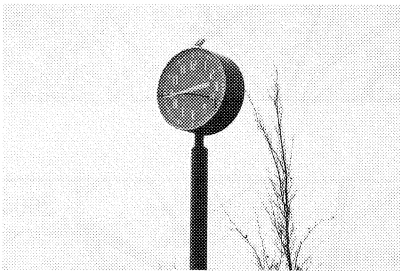
図 1

問 1 アヤネさんは、JR 富良野線の列車に乗り、図 1 中の P 駅から S 駅に向かって移動し、車窓から東側の景観を観察した。その景観を説明した文として最も適切なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 31

- ① P 駅を出発すると、Q 駅まで連続して市街地が見えた。
- ② Q 駅と R 駅の間では、^{ふらのだけ}富良野岳の斜面が見えた。
- ③ R 駅への到着直前に、駅前の市街地や公共施設が見えた。
- ④ R 駅と S 駅の間では、一面に広がる果樹園が見えた。

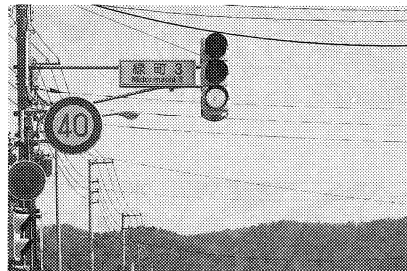
問 2 次の写真 1 中の①～④は、この地域の気候に対応した生活のあり方に関心をもったアヤネさんが、様々な場所で撮影したものである。主に積雪に対応したものとして適当でないものを、次の写真 1 中の①～④のうちから一つ選べ。

32



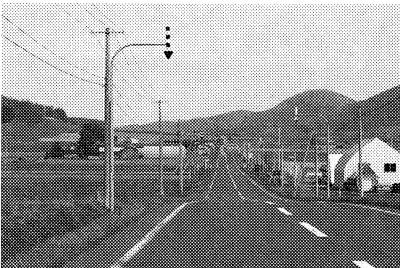
上部に太陽電池が付いた時計

①



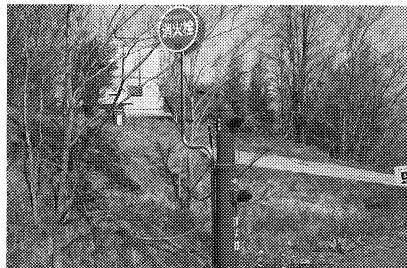
縦型の信号機

②



道路の境界を示す標識

③



ホース取り付け部の位置が高い消火栓

④

写真 1

地理B

問 3 アヤネさんは、富良野市の土地利用変化を調べるために新旧地形図の比較を行うことにした。次の図2は、図1中のXの範囲における1921年と2004年に発行された5万分の1地形図(原寸、一部改変)である。図2から読み取れるこの地域の変化について述べた文として適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

33

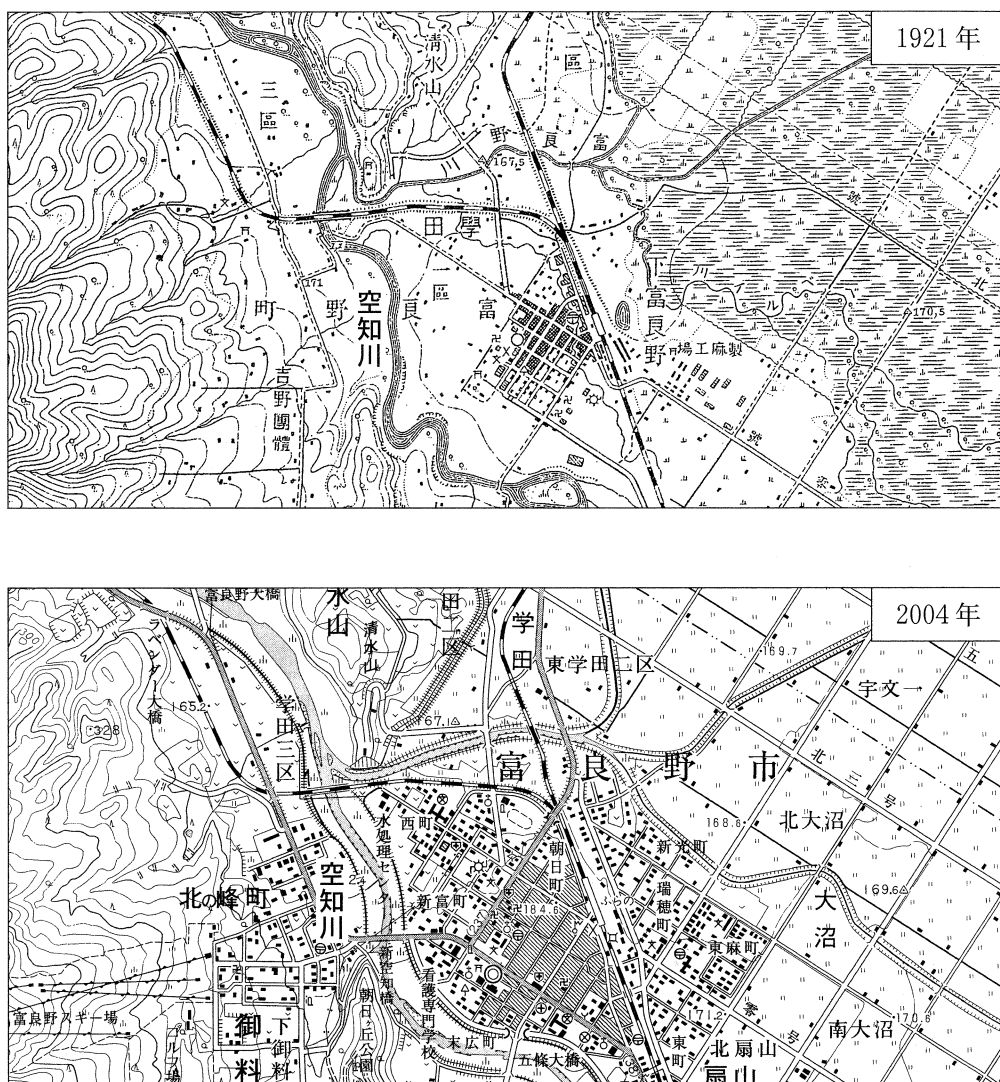


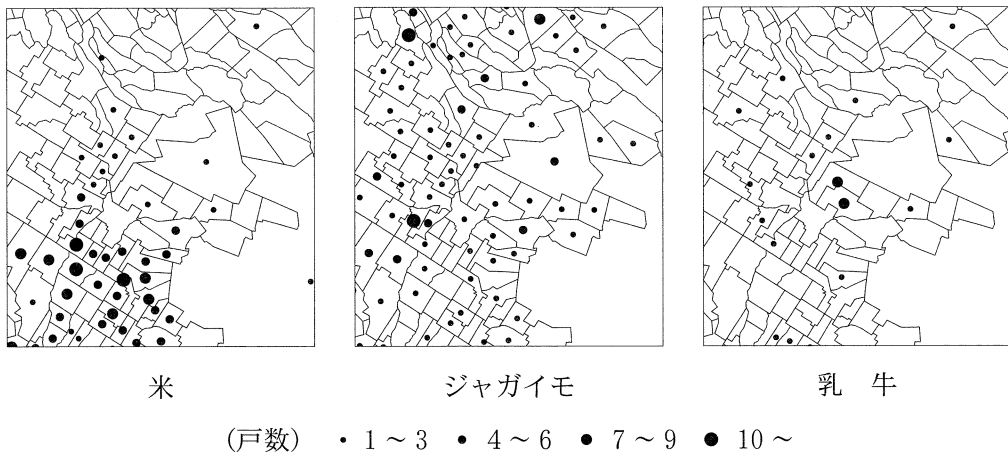
図 2

地理 B

- ① 市街地は鉄道駅に接して形成されていたが、その周辺に主要な公共施設がつくられ、駅西側を中心に市街地が拡大した。
- ② 空知川が改修され、旧河道の一部を活用して鉄道や郵便局が新たに^{そらち がわ}つくられた。
- ③ 空知川西岸の「^{よしの だんたい}吉野團體」と記された開発地とその周辺には、宅地やスキー場、ゴルフ場などがつくられた。
- ④ 東部の格子状の区画では、かつては湿地の状態であったものが、排水などが行われて水田となった。

地理 B

問 4 地域の農作物や乳製品を利用したご当地カレーを食べたアヤネさんは、富良野地域の農業に関心をもち、統計資料を収集した。次の図 3 は、図 1 中の Y に示された範囲における米、ジャガイモ(馬鈴薯^{ばれいしょ})、乳牛の集落別の農家の戸数を示している。戸数の分布とその背景に関して説明した文として適当でないものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 34



統計年次は 2010 年。

農林業センサスにより作成。

図 3

- ① 米は、北海道特有の気候条件に対応した新たな品種が開発され、盆地を中心に農家が分布している。
- ② ジャガイモは、大規模な灌漑施設^{かんがい}を必要としないことから、ほとんどの農家は丘陵地に分布し、盆地にはみられない。
- ③ 乳牛を飼養する農家は、戸数が少なく、山麓^{さんろく}の緩斜面や丘陵地を中心に分布している。
- ④ 農業に適さない土地や、自衛隊^{かみふらの}の上富良野演習場があるため、米、ジャガイモ、乳牛に共通して農家が少ない場所が存在する。

- 問 5 アヤネさんは、富良野地域において森林開発が大きな役割を果たしてきたことを知り、地元の博物館をたずねた。アヤネさんと博物館の学芸員との会話文中の空欄サとシに当てはまる語の正しい組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。

35

アヤネ 「富良野には多くの森がありますね。その特徴は何ですか」

学芸員 「冷帯(亜寒帯)に属するこの地域では、針葉樹と(サ)の混交林(混合林)に広く覆われ、その樹種の構成をいかし、森がもつ再生力を活用した林業を行っています。また間伐材の活用なども注目されています」

アヤネ 「日本の林業は今も盛んですか」

学芸員 「日本の木材需給の推移を示した表 1 をみると、近年の木材自給率は(シ)傾向がみられます。なお、林業就業者数は全国的に減少していますが、北海道においては増加しており、都道府県別の木材生産量も北海道が最も多く、重要な産業の一つです」

表 1

(単位：千 m³)

	国内生産量	国内消費量	輸出量	輸入量
2002 年	16,920	89,195	568	72,844
2012 年	20,318	70,769	1,420	51,870

農林水産省の資料により作成。

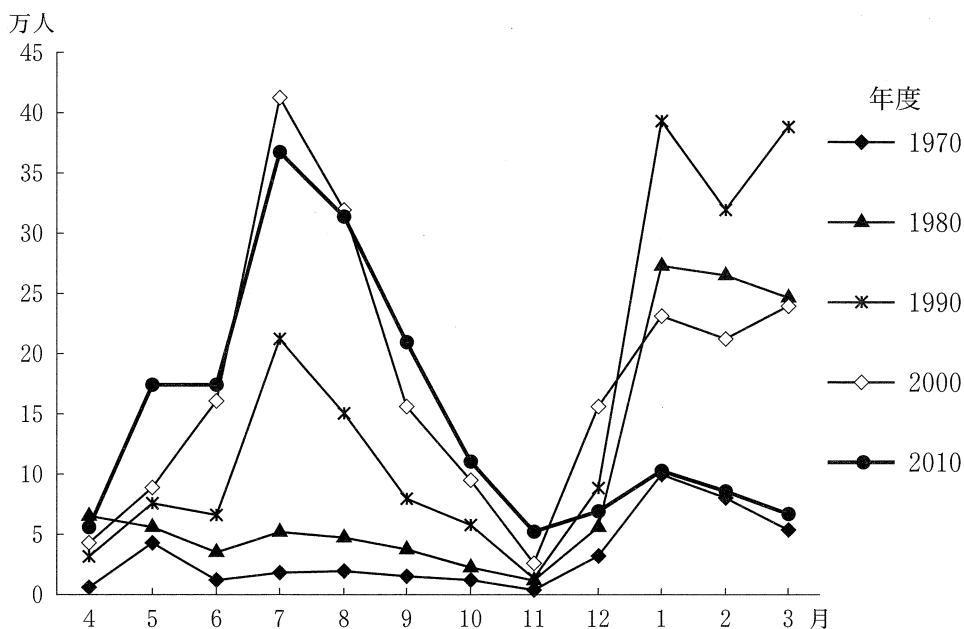
	サ	シ
①	常緑広葉樹	上 昇
②	常緑広葉樹	低 下
③	落葉広葉樹	上 昇
④	落葉広葉樹	低 下

地理B

問 6 富良野地域における多様な観光資源のあり方に関心をもったアヤネさんは、月別観光客数の推移について富良野市役所で統計資料を入手し、図4を作成した。この地域の観光に関連したことがらをまとめた表2も参考にしながら、図4から読み取れる富良野市の年度ごとの夏季・冬季*の観光客数の傾向と、その背景に関して説明した文の下線部が適当でないものを、次ページの①～④のうちから一つ選べ。

36

*夏季は7～9月、冬季は1～3月。



富良野市商工観光課の資料により作成。

図 4

表 2

1976年：国鉄(現在のJR)のカレンダーに、夏のラベンダー畑が掲載
 1977年：富良野スキー場でスキーワールドカップ開催
 1981年：富良野を舞台としたドラマ「北の国から」シリーズ放送開始
 2005年：富良野を舞台としたドラマ「優しい時間」放送

地理B

- ① 1970 年度には、冬季にピークがみられたが、1980 年度にはスキー観光を中心として、冬季のピークが顕著になった。
- ② 1990 年度には、ラベンダー観光の地域への広がりにより、冬季とともに夏季にピークが現れた。
- ③ 2000 年度には、スキー観光客の減少やさらなるラベンダー人気の高まりにより、夏季の観光客数の合計が冬季の 2 倍以上となった。
- ④ 2010 年度には、新たな観光資源の開発や誘致策もあり、冬季・夏季以外のいくつかの月における観光客数が増加する傾向がみられた。